科目名 Subject	自分が輝く自己肯定感 Improving Self-Affirmation			教員名	下高原　由記	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	×					

主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
		◎	○	◎	○	

科目の概要	社会に求められる社会人基礎力は、「前に踏み出す力（アクション）」「考え抜く力（シンキング）」「チームで働く力（チームワーク）」が基盤となります。現代社会において、自分の力を発揮し社会生活を円滑に送るために必要なことは、「自分軸の確立」が不可欠です。 自分を軸に考え、物事を捉えることで自分の信念に基づいて困難を切り開き、イキイキと自分らしく社会生活をおくることに繋がっていきます。 当授業では、ディスカッションや発表を通して自分軸を磨く練習を積み重ねることで、自己肯定感を上げる力・多様性を受け入れる力を培うことができます。 社会人の一員として「社会のお役に立てている」「仕事が楽しい」「自分は価値のある人間だ」「積極的に新しいことにチャレンジしている」という気持ちを持つことができます。 すなわちそれは、国際社会の中における自分の立ち位置を再確認することにも繋がります。
授業方法	対面授業 ただし状況によりハイブリッド授業（対面授業及びオンライン授業）とします。 ※オンライン授業日程は予めお伝えいたします。
授業の目標	① 課題の目的を意識した意見を出し、解決に必要な行動を主体的にとることができる。（DP2） ② 発表の練習を積み重ね、自己価値を再認識し自己受容をあげることができる。 他者との価値観の相違を理解・尊重し協働していくことで、多様性を受容できる。（DP4） ③ 課題に対し、様々な情報を収集・分析することができる。 問題の本質を見出し、自分なりの解決法を見出していくことができる。（DP３） ④ 世界と日本の価値観の相違を学び、日本特有の良さや特徴を再認識することができる。 また、日本人としての自覚をあげることができる。（DP5）
時間外学習 （予習・復習）	【 復習 】　・各授業後に配布資料の内容をノートにまとめる。 ・プレゼンテーションの課題リサ―チ及び資料作成。 【 予習 】　・次回の授業内容に関する配布プリントを事前に読み込み、 自分なりの意見を予め持っておく。 ※各回の予習・復習は概ね60分を見込む。

教科書・教材		
	教科書	なし
	教材	必要に応じてプリントを配布
	使用設備・備品	DVD,ビデオ再生機、インターネット
	参考文献	必要に応じ提示

評価方法	授業参加意欲20% 提出物及びプレゼンテーション80% 授業内容の性質上、特に授業態度は重視します。
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。
学生へのフィードバックの方法	ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。
履修上の注意	私語、居眠り、飲食、携帯電話の使用、授業の妨げと判断された場合は成績に影響することがあります。 積極的な授業参加が不可欠です。
本科目履修と関連する資格	資格名　なし

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション ～本授業の目的・目標及び概要を学ぶ～	本科目の進め方・概要を理解し、全体の授業展開を予測することができる	復習：当科目のの目的・目標をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第2回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第２回	自己肯定感とは何かを学ぶ	自己肯定感を磨く目的及び目標を理解し、説明することができる	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第3回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第３回	ケース① ～課題に対する解決策を学ぶ～	グループ毎に課題に取り組むことを通し、本質とは何か、そして自分軸・多様性とは何かを説明することができる。	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第４回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第４回	ケース① ～課題解決策の展開方法を学ぶ～	プレゼンテーションの準備を通し、課題解決の結論と道筋を書き出すことで、自分軸の構築プロセスを可視化することができる。	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第５回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第５回	ケース① ～プレゼンテーション発表のための資料作成法を学ぶ～	プレゼンテーションの準備を通し、聴き手を意識したパワーポイント資料を作成することで、整理された思考を可視化することができる。	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第6回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第６回	ケース① ～プレゼンテーション発表のための効果的な発表方法を学ぶ～	作成した資料の発表練習を通し、聴き手を意識することで多様性・肯定的な表現を活用することができる。	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第7回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第７回	ケース① ～グループ発表から課題解決法の多様性を学ぶ～	グループ発表を通し、参考になる考え方や捉え方を吸収することで、自分の思考を広げる要素に気づき説明することができる	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第8回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第８回	ケース① ～グループ発表からケース②に対する改善策を学ぶ～	グループ発表を通し、参考になる考え方や捉え方をケース②に向け資料作成に展開していくことができる。	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第9回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第９回	ケース② ～課題②の解決策に対する基本を再確認し、改善方法を学ぶ～	ケース①から学んだ解決法を課題②に応用し、本質を見抜く力を高め、目的を意識した解決策を積極的に説明することができる	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第10回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第１０回	ケース② ～課題解決策の展開に対する改善方法を学ぶ～	ケース①から学んだ要素を応用し、解決策に対する展開法の精度をあげ自分軸の構築プロセスに自信がもてるようになる。	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第11回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第１１回	ケース② ～精度を上げたプレゼンテーション発表のための資料作成法を学ぶ～	ケース①から学んだ要素を応用し、聴き手が理解できる資料作成の精度を更に高め、自分軸に対する考え方に自信が持てるようになる。	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第12回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第１２回	ケース② ～精度を上げた効果的な発表方法を学ぶ～	ケース①から学んだ要素を応用し、作成した資料の発表練習を通して、更なる具体的な多様性・肯定的な表現を活用することができる。	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第13回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第１３回	ケース② ～グループ発表から自己肯定感を学ぶ～	グループ発表を通し、物事の本質、多様性の受け入れ方、自分軸の確立が自己肯定感にどのように繋がるかを説明することができる。	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第14回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第１４回	ケース② ～グループ発表から自己肯定感の具体策を学ぶ～	グループ発表を通し、自己肯定感に関する具体的な考え方と行動を説明することができる。	復習：授業内容をノートにまとめる。（30分） 予習：次週の配布資料（第15回目）を読み、予備知識を得る。（30分）
第１５回	まとめ ～本授業の振り返りから自己肯定感に関する活かし方を学ぶ～	本授業の目的・目標の達成状況及を確認し、自己肯定感に対する今後の目標を再設定することができる	復習：授業内容（第1～15回）をノートにまとめる。（60分）